



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 ウシオ電機株式会社

コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浜島 健爾

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 経理担当部長

(氏名) 瀧澤 秀明

TEL 03-5657-1000

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	124,989	△7.1	5,733	△45.4	8,069	△38.2	6,087	△36.2
28年3月期第3四半期	134,551	17.2	10,491	64.4	13,059	42.1	9,547	17.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 9,682百万円 (4.1%) 28年3月期第3四半期 9,304百万円 (△66.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	47.58	—
28年3月期第3四半期	73.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	311,421	216,461	68.7
28年3月期	294,525	211,296	70.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 213,958百万円 28年3月期 208,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	—	—	26.00	26.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	170,000	△5.1	9,000	△31.5	10,000	△31.7	7,000	△37.0	54.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	139,628,721 株	28年3月期	139,628,721 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	11,867,249 株	28年3月期	10,954,280 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	127,958,739 株	28年3月期3Q	129,539,961 株

(注)株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料は平成29年1月31日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業について概観いたしますと、光源事業においては主に円高ドル安の進行による為替影響により減収減益となりました。装置事業においても為替影響に加え、映像装置事業の市場環境変化や競争環境の激化により、減収減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,249億8千9百万円(前年同期比7.1%減)、営業利益は57億3千3百万円(前年同期比45.4%減)となりました。また、営業利益の減益を受け経常利益は80億6千9百万円(前年同期比38.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億8千7百万円(前年同期比36.2%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(光源事業)

当第3四半期連結累計期間は、主として前年同期比で円高ドル安となった為替影響を受け、減収減益となりました。

放電ランプのうち、露光用UVランプについては、半導体関連メーカー及び有機ELディスプレイ関連メーカーの設備投資が増加したことと、ユーザーでの稼働率が高水準を維持しているためリプレース需要は増加したものの、為替影響により減収となりました。シネマプロジェクター用クセノンランプは、中国を中心にシネマスクリーンの新設が継続しており需要の増加にも関わらず、価格競争の激化及び為替影響により減収となりました。ハログランプは、OA用途において新興国の景気低迷による需要減や為替影響により減収となりました。

その結果、売上高は549億7千4百万円(前年同期比7.0%減)、セグメント利益は54億8千4百万円(前年同期比37.0%減)を計上いたしました。

(装置事業)

当第3四半期連結累計期間は、主として前年同期比で円高ドル安となった為替影響に加え、映像装置事業において中国での競争激化の影響を受け、減収減益となりました。

映像装置のうちシネマ分野では、デジタルシネマプロジェクターの出荷が中国など新興国を中心に継続しており販売台数は増加したものの、需要が拡大している中小型タイプにおいて、ランプに代わる蛍光体レーザーを光源とするプロジェクターの台頭により競争が激化したことにより販売単価の下落がありました。一般映像用装置については、前期に新規投入したアミューズメントパークやイベント向けプロジェクターの販売は堅調に推移した反面、フラットパネルディスプレイの浸透が拡大したことや、蛍光体レーザープロジェクターによる競争環境激化により、常設タイプの中小型プロジェクターを中心に販売が低迷しました。

光学装置においては、前期に需要が増加したスマートフォン関連の各種電子デバイス向け露光装置の設備投資が弱含み、販売が低迷しました。一方、中国やその他アジア地域を中心とした中小型液晶パネル関連及び有機ELディスプレイ関連の設備投資は継続しており、有機ELディスプレイ向けエキシマ洗浄装置や液晶パネル製造用装置の販売が増加しました。

その結果、売上高は690億円2千8百万円(前年同期比6.9%減)、セグメント損失は4千7百万円を計上いたしました。

(その他事業)

その他事業におきましては、射出成形プロセスを監視する金型監視装置の販売が拡大しました。

その結果、売上高は25億1百万円(前年同期比15.6%増)、セグメント利益は1百万円(前年同期比97.4%減)を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,114億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ168億9千6百万円増加いたしました。主な増加要因は、銀行借入れの増加による「現金及び預金」の増加、債券の取得等による「投資有価証券」の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、949億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ117億3千1百万円増加いたしました。主な増加要因は、運転資金等の需要増加に伴う「短期借入金」及び「長期借入金」の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,164億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億6千4百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益獲得による「利益剰余金」の増加及び為替影響による「為替換算調整勘定」の増加であります。主な減少要因は、自己株式の取得による「自己株式」の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年10月31日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,595	64,601
受取手形及び売掛金	38,424	39,266
有価証券	7,893	9,065
商品及び製品	30,705	28,941
仕掛品	10,215	13,166
原材料及び貯蔵品	15,716	13,799
繰延税金資産	5,070	4,063
その他	8,677	10,137
貸倒引当金	△1,125	△1,076
流動資産合計	170,173	181,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,115	43,422
減価償却累計額	△22,608	△23,679
建物及び構築物（純額）	17,507	19,743
機械装置及び運搬具	23,541	24,100
減価償却累計額	△18,845	△19,335
機械装置及び運搬具（純額）	4,696	4,765
土地	10,119	9,707
建設仮勘定	3,118	2,770
その他	26,224	28,555
減価償却累計額	△19,356	△20,947
その他（純額）	6,868	7,607
有形固定資産合計	42,310	44,594
無形固定資産		
のれん	4,995	4,216
その他	5,790	5,446
無形固定資産合計	10,786	9,662
投資その他の資産		
投資有価証券	65,745	69,164
長期貸付金	9	11
繰延税金資産	1,116	1,484
退職給付に係る資産	23	24
その他	4,482	4,628
貸倒引当金	△120	△112
投資その他の資産合計	71,256	75,201
固定資産合計	124,352	129,458
資産合計	294,525	311,421

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,797	17,463
短期借入金	5,049	5,607
1年内返済予定の長期借入金	3,066	4,957
未払法人税等	382	758
繰延税金負債	183	77
賞与引当金	2,472	1,091
製品保証引当金	1,828	2,146
受注損失引当金	2	16
環境対策引当金	236	—
その他	18,443	20,815
流動負債合計	49,463	52,935
固定負債		
長期借入金	6,397	16,659
繰延税金負債	4,325	5,390
役員退職慰労引当金	756	626
役員株式給付引当金	102	111
退職給付に係る負債	14,946	12,006
資産除去債務	203	206
その他	7,032	7,023
固定負債合計	33,765	42,024
負債合計	83,228	94,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	27,672	27,670
利益剰余金	151,856	154,590
自己株式	△16,027	△17,215
株主資本合計	183,057	184,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,072	31,015
繰延ヘッジ損益	—	△27
為替換算調整勘定	4,375	6,081
退職給付に係る調整累計額	△9,800	△7,712
その他の包括利益累計額合計	25,647	29,356
非支配株主持分	2,590	2,502
純資産合計	211,296	216,461
負債純資産合計	294,525	311,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	134,551	124,989
売上原価	82,640	81,045
売上総利益	51,910	43,943
販売費及び一般管理費	41,419	38,210
営業利益	10,491	5,733
営業外収益		
受取利息	563	550
受取配当金	1,167	1,277
為替差益	763	—
売買目的有価証券運用益	114	399
特定金銭信託運用益	66	350
その他	231	347
営業外収益合計	2,908	2,927
営業外費用		
支払利息	184	222
為替差損	—	312
持分法による投資損失	10	6
その他	143	48
営業外費用合計	339	590
経常利益	13,059	8,069
特別利益		
固定資産売却益	1,079	417
投資有価証券売却益	279	1,481
関係会社清算益	37	—
負ののれん発生益	579	—
特別利益合計	1,975	1,899
特別損失		
固定資産除却損	68	56
固定資産売却損	1	20
投資有価証券売却損	—	7
特別退職金	46	10
移転費用	304	134
事業構造改善費用	—	554
特別損失合計	421	784
税金等調整前四半期純利益	14,613	9,184
法人税、住民税及び事業税	2,821	2,100
法人税等調整額	2,133	1,097
法人税等合計	4,954	3,198
四半期純利益	9,659	5,985
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	112	△101
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,547	6,087

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	9,659	5,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,967	△57
繰延ヘッジ損益	△0	△27
為替換算調整勘定	△2,791	1,694
退職給付に係る調整額	470	2,087
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△354	3,697
四半期包括利益	9,304	9,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,282	9,796
非支配株主に係る四半期包括利益	22	△113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	58,271	74,133	132,405	2,145	134,551	—	134,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	821	37	859	18	878	△878	—
計	59,093	74,171	133,265	2,164	135,429	△878	134,551
セグメント利益	8,707	1,621	10,328	51	10,379	111	10,491

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,597	68,900	122,497	2,491	124,989	—	124,989
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,377	128	1,505	9	1,514	△1,514	—
計	54,974	69,028	124,002	2,501	126,503	△1,514	124,989
セグメント利益又は損失 (△)	5,484	△47	5,437	1	5,438	294	5,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。